

(社) 日本原子力学会標準委員会システム安全専門部会
第27回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日 時 2016年2月17日 (水) 13:30~16:00

2. 場 所 (一社)原子力安全推進協会 D会議室

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 勝村 (主査)、内田 (副主査)、北島 (幹事)、河村、西山、岡田、寺地、
高木、荘田、大橋、久宗、中野^(調)、長谷川、河合 (14名)

(代理出席委員) 水野 (篠原代理)、碓井 (長瀬代理) (2名)

(常時参加者) 平野、都筑、武田、真鍋、高橋、中野^(術)、小野寺 (7名)

(オブザーバー) 須澤 (1名)

4. 配付資料

【P11SC27-0】 第 27 回水化学管理分科会議事次第

【P11SC27-1】 人事について

【P11SC27-2】 第 26 回水化学管理分科会議事録(案)

【P11SC27-3-1】 「沸騰水型原子炉の水化学管理指針」及び「加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針」の検討状況について

【P11SC27-3-2】 水化学管理指針 関村標準委員長コメント対応案説明時の議事録 (案)

【P11SC27-3-3】 水化学管理指針 関村標準委員長説明時のコメント対応議事録 (案)

【P11SC27-3-4】 「沸騰水型原子炉の水化学管理指針」及び「加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針」の検討状況について(修正案)

【P11SC27-3-5】 BWR Water Chemistry Guidelines and PWR Primary Water Chemistry Guidelines in Japan - Purposes and Technical Backgrounds -

【P11SC27-4】 PWR プラント二次系水化学管理指針の対象と管理項目の基本的考え方

【P11SC27-5】 水化学管理分科会の今後の予定について

【P11SC27-参考 1】 水化学管理分科会委員及び常時参加者一覧表

【P11SC27-参考 2】 水化学管理指針策定スケジュール(案)

5. 議事

(1) 開会のあいさつ

勝村主査より、引き続き、水化学管理指針の学会標準制定に向け、精力的に審議が行われるよう要望する旨、ご挨拶があった。

(2) 人事について

資料P11SC27-1に基づき、北島幹事より、常時参加者、作業会委員の交代が報告され、一同了承した。

(3) 前回議事録の確認について

資料P11SC27-2に基づき、北島幹事より、前回議事録の確認があり、一同承認した。

(4) 標準委員会本報告時のコメント対応について

資料P11SC27-3-1～5に基づき、標準委員会本報告時の関村委員長コメントに対する回答につき、都筑常時参加者から説明があった。これに対して、以下の質疑応答がなされた。

・標準委員会における原子力安全文化の醸成に対する取り組み方は十分に理解するものであるが、一方、水化学管理指針の成立経緯にそのまま当てはめて良いかどうかは吟味する必要がある。IAEAのSSR要件29に水化学への要求事項があるからと言って、それを水化学管指針の設定根拠とするには現実との乖離を感じる。設立の経緯を述べた上で、自主的安全性向上の観点からも標準委員会の検討体系に乗っていることを示すような説明が良いのではないかと考える。(高木委員)

・自主的安全性向上に取り組むスタンス、位置付けの問題であれば、標準委員会の体系に従えば良いと思うが、水化学管理指針の内容まで変わってしまうことはないのか？(内田副主査)

→内容は、関村標準委員長、岡本システム安全専門部会長にも認めて頂いている。スタンスの問題だと考えている。

・IAEAの取り組みに基づく説明は、後段に持って来る方が良いのではないかと？まず、従来の水化学管理指針の取り組みについて述べ、その後、自主的安全性向上、安全文化醸成の考え方につき、取り組みのスタンスを述べれば良いのではないかと？(勝村主査)

→拝承。構成をそのように見直すこととする。

・「必要な標準」という表記は、厳格に取り込まれると、事業者としては運用が困難になる例も出てくる恐れはないか？(寺地委員)

→東京電力としては、保安規定の下に位置付けるような運用をイメージしている。(長谷川委員)

→中部電力としては、AL3の内容を現場に落とし込めるかどうかを議論している所である。(河合委員)

→特段、強制力を持つような表現ではないと思われるので、このままの表記とする。

(5) PWR二次系水化学管理指針の検討状況について

資料P11SC27-4に基づき、荘田委員より、PWR二次系水化学管理指針の検討状況について説明があった。これに対して、以下の質疑応答がなされた。

・本指針に浄化設備等の系統は含めるのか。(高木委員)

→今回の記載は二次系主系統のみを示しているが、今後検討していく。

・AL設定の考え方はPWR一次系指針と同様とするのか。(内田副主査)

→現状は対象系統の抽出、項目分類を行ったところであり、AL設定の考え方は、今後設定

値の検討と併せ検討していく。

(6) 水化学管理分科会の今後の予定について

添付資料P11SC27-参考2に基づき、北島幹事より、今後の検討予定が報告された。BWR/PWR水化学管理指針の標準委員会コメント対応は継続して審議して行く。併せて、PWR二次系水化学管理指針、BWR化学分析標準を並行して審議して行くこととする。

6. 今後の予定

今回は、2016年5月17日（火）13:30～（場所追而）にて開催することとする。

以 上